

# 都響

音楽監督 大野和士

©Veikko Kähkönen

第842回 定期演奏会

Suomi  
Finland  
100

# A Series

2017  
**11/8** (水)  
wed.  
19:00 開演

東京文化会館

Subscription Concert No.842 A Series

Wed. 8 November 2017, 19:00 at Tokyo Bunka Kaikan

シベリウス：  
クレルヴォ交響曲 op.7

Sibelius: Kullervo, op.7

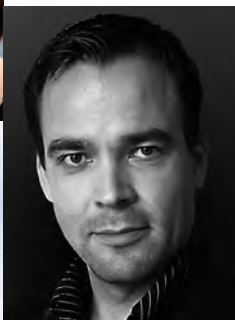
ーフィンランド独立100周年ー



©Heikki Tuuli

メゾソプラノ  
ニーナ・ケイテル

Niina KEITEL  
Mezzo-Soprano



©Eino Pursio

バリトン  
トウオマス・プルシオ  
Tuomas PURSIO  
Baritone

男声合唱  
フィンランド・ポリテク男声合唱団  
The Polytech Choir, Male Chorus



シベリウス作品に込める、  
フィンランドの音楽家たちの熱き魂

Hannu LINTU, Conductor

指揮

# ハンヌ・リントウ

プロムナードコンサート No.375

## Promenade Concert

2017  
**11/3** (金・祝)  
fri.  
14:00 開演

サントリーホール

Promenade Concert No.375

Fri. 3 November 2017, 14:00 at Suntory Hall

ベートーヴェン：  
ヴァイオリン協奏曲  
ニ長調 op.61

Beethoven: Violin Concerto in  
D major, op.61

シベリウス：  
交響曲第2番  
ニ長調 op.43


Sibelius: Symphony No.2 in  
D major, op.43

ヴァイオリン  
ヴェロニカ・エーベルレ

Veronika EBERLE  
Violin



主催：公益財団法人東京都交響楽団 後援：東京都、東京都教育委員会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業) 公益財団法人アフィニス文化財団 (11/8) 



## “『クレルヴォ』は今日でも世界で起きている 暴力や非行の象徴とも言えます”

フィンランド独立100年の今年、シベリウス初期の傑作《クレルヴォ交響曲》を第842回定期Aシリーズで披露する。1974年渡邊暁雄の指揮で都響が日本初演したこの合唱付き管弦楽曲を、指揮のハンヌ・リントウ（フィンランド放送響首席指揮者）がシベリウス作品への思いとともに語った。

### 叙事詩カレワラの世界

「英雄の地」を意味するカレワラは、19世紀に編纂されたフィンランドの民族叙事詩。フィンランドの人々の自国の文化や言語に対する意識を高め、フィンランド独立運動の精神的支柱となった。シベリウスはカレワラを題材とした作品を数多く作曲し、《クレルヴォ交響曲》もそのひとつ。シベリウスを語るうえで欠かせない存在だ。

「カレワラ」の概念はあらゆる文化で共通と言えるでしょう。天地創造、神々と人間との戦い、そして神々がこの世を去るとき。カレワラが他の国のサガ（神話）と異なるのは、文献ではなく歌で伝えられたという点で、独自の詩的なリズムがあります。」

普遍的なテーマを持つカレワラだが、『クレルヴォ』には特にフィンランド的な特徴があるという。

「それは、英雄が際限のない惨事に遭遇したときに、どうすることもできなかったというストーリーに示されているでしょう。『クレルヴォ』は今日でも世界で起きている暴力や非行の象徴とも言えます。神の行為は永遠に私たちとともにあるのです。」

### 歌声もたらす希望と人間性

すばらしいフィンランドの歌手たちとの共演も楽しみだが、さらにうれしい知らせが届いた。《クレルヴォ交響曲》のアンコールとして、シベリウスの交響詩「フィンランディア」を合唱付きで演奏するという。

「フィンランディアは当初から歌の付いた作品として作曲されたものではありません。フィンランドの詩人コスケンニエミが歌詞をつけ、シベリウス自身もこの作品を新興国家が戦争の惨禍から立ち直る象徴と理解し、今では歌付きの版も親しまれています。とても美しい歌詞ですが、歌詞がなくても同等に力強いと思います。フィンランディアは様々な文化を持つ人々に語りかけ、いかなる言語を持つ人々にも希望をもたらします。人の声はそこに独自の人間性を添えるのです。」

#### TICKET

プロムナードコンサート 2017年11月3日(金・祝) 14:00開演(13:20開場) サントリーホール	定期演奏会Aシリーズ 2017年11月8日(水) 19:00開演(18:20開場) 東京文化会館
S ¥6,500 A ¥5,500 B ¥4,500 P ¥3,200	S ¥7,500 A ¥6,500 B ¥5,500 C ¥4,500 Ex ¥3,200

一般発売 7月28日(金) 10時 都響会員先行発売 7月21日(金) 10時 ※発売日初日の都響ガイドは電話受付・WEBチケット受付のみ。

ご予約・お問合せ



0570-056-057

(ナビダイヤル)

月～金 10～18時 / 土日祝 休み 主催公演開催日等は休業または営業時間変更となります。



www.tmsso.or.jp

#### プレイガイド

[定価のみ取扱]

- サントリーホールチケットセンター (11/3) 0570-55-0017
- チケットぴあ (Pコード: 338-926(11/3)・338-937(11/8)) 0570-02-9999
- ローソンチケット (Lコード: 32186(11/3)・32226(11/8)) 0570-000-407

- 東京文化会館チケットサービス (11/8) 03-5685-0650

- イープラス http://eplus.jp/tmsso/

#### ■各種割引(対象:S～C席)

シルバーエイジ割引 (65歳以上・200席限定) 30%OFF

U25割引 (生年月日1992年4月1日以降) 50%OFF

●マイチョイス割引 ●ハンディキャップ割引 ●都響おそ割(11/8は対象外)

※いずれの割引もD席・Ex席は対象外。詳細はお問い合わせください。

#### 託児サービス/事前予約制 ※詳細はお問い合わせください

アルファコーポレーション受付センター(11/3)(生後3ヶ月以上)  
0120-086-720(月・金:9時30分～17時30分) ¥2,000/人  
東京都交響楽団コンサートバックとお申し付けください。  
公演前営業日の16時までにお申し込みください。

イベント託児®マザーズ(11/8)(1歳以上)  
0120-788-222(月・金:10～12時、13～17時) ¥2,000/人  
公演の1週間前までにお申し込みください。

※やむを得ない事情により、出演者・曲目などが変更になる場合がございます。※演奏会中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはいたしません。あらかじめご了承ください。※未就学児入場不可。

### Profile

ハンヌ・リントウ (指揮) Hannu Lintu, Conductor

フィンランド放送響首席指揮者。2013年まで、タンペレ・フィル芸術監督兼首席指揮者、RTÉ国立響(ダブリン) 首席客演指揮者を務めた。これまでにヘルシンボリ響およびトゥルク・フィルで芸術監督職を担っている。フィンランド国立オペラに定期的に登場、《バルジファル》《カルメン》などを指揮。シベリウス・アカデミーでヨルマ・バヌラに師事、キジャーナ音楽院(イタリア) でジョン・ミョンフンのマスタークラスに参加。1994年ノルディック指揮者コンクール(ベルゲン)で優勝した。都響とはこれまで第670・671回定期演奏会(2008年11月18・19日)、プロムナードコンサートNo.343(2011年4月24日)、第783回定期演奏会(2015年1月23日)で共演している。

ヴェロニカ・エーベルレ (ヴァイオリン) Veronika EBERLE, Violin

南ドイツ生まれ。ポッペン、チュマチェンコ等のもとで研鑽を積む。2006年、わずか16歳でラトルの指名を受けザルツブルク復活祭音楽祭に登場、ベルリン・フィルとベートーヴェンの協奏曲を弾き、世界中の注目を集めた。以後、ラトル指揮ロンドン響、ホルガー指揮ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ギルバート指揮ニューヨーク・フィル、バーヴォ・ヤルヴィ指揮フランクフルト放響等、世界の主要オーケストラ、著名指揮者に招かれている。室内楽にも積極的に、ラルス・フォークト、ルノー・カブソン、アントワン・タメスティ等と共演を重ねる。稀有な才能と安定感のある成熟した技術は、世界中から賞賛されている。日本には度々来日しているが、都響とは初共演となる。使用楽器は日本音楽財団から貸与されたストラディヴァリウス「ドラゴネッティ」(1700年製)。

ニーナ・ケイテル (メゾソプラノ) Niina KEITEL, Mezzo-Soprano

ニーナ・ケイテルは今日最も成功したフィンランド人のメゾソプラノである。ヘルシンキのシベリウス・アカデミー卒業。客演ではバリ国立オペラ、フランクフルト歌劇場等に登場。多才なコンサート歌手として、フィンランド、スウェーデン、ドイツ、フランスのオーケストラ多数、またケント・ナガノ、ダン・エッティンガー、レイフ・セーゲルスタム、ミッコ・フランク等多くの著名な指揮者とも共演。オペラ、コンサート歌手での活動に加え、フィンランド・レミン音楽祭では音楽監督を務めている。

トゥオマス・プルシオ (バリトン) Tuomas PURSIO, Baritone

フィンランドのバスバリトン、トゥオマス・プルシオは出身地ヘルシンキのシベリウス・アカデミーで声楽を学び、トム・クラウゼ、ラズロ・ボルガーのマスタークラスを受講。現在エリザベス・ヴェレス教授に師事。チューリッヒ歌劇場の国際オペラスタジオに所属、当劇場の複数のプロダクションの公演に出演。ベルリン・ドイツ国立オペラ、ベルリン・フィルハーモニー、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス等に出演。リッカルド・シャイー、アダム・フィッシャー、オスモ・ヴァンスカ、レイフ・セーゲルスタム等と共演している。

フィンランド・ポリテク合唱団(男声合唱) The Polytech Choir

フィンランド・ポリテク合唱団は、1900年に設立されたフィンランドの男声合唱団で、メンバーは主にヘルシンキ工科大学の学生および卒業生で構成されている。レパートリーは、ロマン派から近現代まで多岐にわたる。定期的にフィンランドの主要オーケストラとともに、毎年10～15回の海外ツアーを行っている。2013年以来、芸術監督と合唱指揮は、サーラ・アイツタクンプ(Master of Music)が務めている。